



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：観光促進に関するアラブ観光機構総裁の発言 (5月28日付現地各紙)

5月28日付サウジアラビア各紙によれば、トルコのウスパルタ県のメムドゥフ・オウズ知事がサウジアラビアを訪問している際に、アラブ観光機構のバンドル・フハイド総裁が、アラブ世界における観光促進について、概要以下の通り述べた。

1. 「アラブの春」により、アラブ地域は1,000万人の観光客を失った。エジプトだけでも300万人の観光客を失った。これにより、150億米ドルの損失を被った他、多数の失業者が生まれた。
2. こうした損失を回復するため、アラブ観光機構は、幾多の措置をとるとともに、アラブ地位での観光促進に努めている。ちなみに、アラブ人は5日間で1,800米ドルを消費するのに対し、他の国々の観光客は300米ドルを消費する。
3. アラブ地域は、より多くのトルコ人観光客を誘致するとともに、トルコの経験を学びたいと希望している。我々は今、戦略的にトルコにシフトしている。
4. 世界は毎年、観光で5億7,000万米ドルを消費しており、4億5,000万人の雇用を創出している。
5. 現在、世界では8億5,000万人が旅行をするが、アラブ地域への旅行者は3,500万人に過ぎない。2013年までに、世界の観光客は10億人に達すると見込まれるが、アラブ観光機構としては、より多くの観光客をアラブ地域に誘致することを望んでいる。